

※不向きな落ち葉には、水分・ヤード等が多く含まれているため腐りにくい性質があります。含まれる成分に植物の発芽や生育を抑制する物質を含む場合があります。

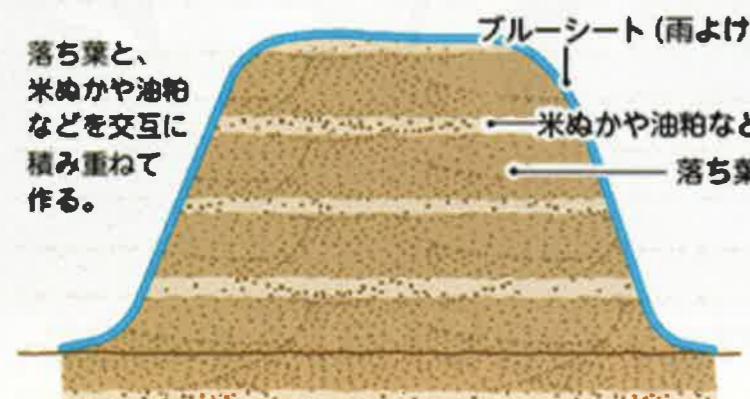
【落ち葉堆肥に適した落ち葉】
ケヤキ・コナラ・クヌギなどの広葉樹
【落ち葉堆肥に不向きな落ち葉】
イチヨウ・サクラ・クスなどの広葉樹、
スギ・ヒノキ・マツ・カヤなどの針葉樹

「落ち葉堆肥」に適する
落ち葉の種類

植物が養分を吸収することができるのは、根の周りの限られた部です。土壤中の肥料分をより有効に吸収させるために、根の周りの微生物をうまく利用し、広範囲の養分を根が吸収することができるよう、土壤の团粒化を図り、微生物を活性化させることが重要なポイントです。

堆肥の効果について

「落ち葉堆肥づくり」について



(1) 落ち葉と、米ぬかや油粕などを交互に積み重ねて作る。
(2) 落ち葉がボロボロになり、崩れてしまう(1年程度完成です)。

(3) 踏むとしみ出してくる程度の水をまく。
(4) (2)～(3)を繰り返して、1mくらいの高さに積み上げてください。
(5) 雨よけのために、上にブルーシートで覆う。
(6) 1か月ごとに3回程度切り返し作業をします。

「落ち葉堆肥」とは、落ち葉を積んで発酵させたものです。落ち葉に米ぬかや油粕などの有機質肥料を加えて発酵を促進させたもので、肥料分を少し含んだ良質堆肥として使うことができます。

【落ち葉堆肥の作り方】

(1) 壁を利用したり、ベニヤ板でコの字型の囲いをしたりして、堆積場を作ります。

(2) 落ち葉を20cm～30cm程度の厚さに積む。米ぬかや油粕など(落ち葉の重量の3～4%)をサンドイツ状に積み重ね、水をたっぷりまいて踏み固める。

(3) 踏むとしみ出してくる程度の水をまく。

(4) (2)～(3)を繰り返して、1mくらいの高さに積み上げてください。

(5) 雨よけのために、上にブルーシートで覆う。

(6) 1か月ごとに3回程度切り返し作業をします。

(7) 落ち葉がボロボロになり、崩れ

農業用廃プラスチック回収について

農業用プラスチック類は、産業廃棄物に該当するため、責任をもって処理する必要があります。今回、管内の農家の方々を対象に、農業用廃プラスチック類の一括処理を実施します。

第2回 11月26日(土)9:00～11:30
近江カントリーエレベーター・神照カントリーエレベーター

対象となるプラスチック ○農業用ポリ ○育苗箱 ○畔波シート ○肥料袋 など

当日、委任状兼口座振替依頼書がない場合、または記入漏れがある場合は受付できませんので、ご注意下さい。
書類については各支店窓口にございます。



※廃タイヤ・農業のガラス瓶・中身が残っている肥料袋などは回収することが出来ませんのでご注意ください。

12月3日(土)9:00～11:30
伊吹カントリーエレベーター・長浜カントリーエレベーター

- ① 機械の良好状態の維持
- ② 性能の維持(不良個所の早期発見による修理)
- ③ 農作物の収量・品質の確保(作業精度の確保・適期農作業の実施)
- ④ 安全性の確保(思わぬトラブルの回避)
- ⑤ 生産コストの削減(機械の寿命が延びる)

点検実施による効果

- | | |
|-----------------|-----------------|
| □オイルのチェック | □ハンドルの遊びチェック |
| □冷却水の量のチェック | □エンジンのかかり具合(始動) |
| □燃料チェック | □ホーン確認 |
| □バッテリー液チェック | □タイヤの空気圧 |
| □ファンベルトのチェック | □クラッチの効き具合 |
| □灯火装置のチェック | □ブレーキの効き具合 |
| □フィルターのチェック | □油圧装置の作動チェック |
| □エアクリーナーのチェック | □油漏れ、異常音のチェック |
| □各部のボルト・ナットのゆるみ | □方向指示ランプの点灯 |

まずは機械の清掃を

点検の心得

トラクターの日常点検の一例

収穫が終わり、来年の農作業に向け農業機械の点検を行いましょう。農業機械は、主にトラクター・田植機・コンバイン・草刈機・動散などがあります。JAの農業生産工程管理(GAP)の管理・点検等の項目において必須項目として作業機械等の点検実施項目があります。点検を行うことにより、作業機械の長寿化や、安全管理化につながりますので、次年度に向けてゆとりのある作業ができるよう、点検整備を行いましょう。

機械を長期間格納する場合、手入れせずに泥やほこり、粉やわら屑などをそのまま放置すると、サビが発生しやすくなります。また、ネズミが機械の中に巣をつけ、配線をかじることで電気火災など思わぬ事故が引き起こされます。説明書に基づき点検して下さい。

農業用機械に添付されている取扱説明書に基づき点検して下さい。機械を長期間格納する場合、手入れせずに泥やほこり、粉やわら屑などをそのまま放置すると、サビが発生しやすくなります。機械の異常(異常音・異常発熱・異常排気ガス・水漏れ・油漏れ・異常振動など)を日頃から注意して点検して下さい。

